

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年6月16日

【四半期会計期間】 第95期第3四半期
(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

【会社名】 フタバ産業株式会社

【英訳名】 FUTABA INDUSTRIAL CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役専務取締役 伊藤 舜朗

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地

【電話番号】 (0564)31-2211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 石川 眞澄

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地

【電話番号】 (0564)31-2211(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 石川 眞澄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年2月13日に提出した第95期第3四半期(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)の四半期報告書に以下の事項を反映させることに伴い、記載事項の一部を修正する必要が生じたので四半期報告書の訂正報告書を提出いたします。

提出会社と一部の連結子会社から、持分法適用関連会社であった株式会社ビジネスデザイン研究所に対して当社役職員による不正融資がなされていた事実が判明し、それらの会計処理を適切に修正いたしました。その他、当初四半期連結財務諸表締切後において判明した要修正事項について所要の修正を行いました。その結果、訂正額の概要は以下のとおりであります。

四半期連結財務諸表
 訂正前

	第95期第3四半期 連結累計期間	第95期第3四半期 連結会計期間	第94期
売上高	322,345	100,423	
売上総利益又は売上総損失()	8,261	1,096	
営業損失	7,824	6,152	
経常損失	10,540	7,642	
税金等調整前四半期純損失	15,682	8,780	
四半期純損失	18,092	8,995	
流動資産		107,682	121,690
固定資産		190,676	201,004
総資産		298,359	322,695
流動負債		167,220	147,696
固定負債		62,315	78,787
純資産		68,823	96,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,274		
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,760		
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,520		

訂正後

	第95期第3四半期 連結累計期間	第95期第3四半期 連結会計期間	第94期
売上高	322,345	100,423	
売上総利益又は売上総損失()	8,808	456	
営業損失	6,079	5,455	
経常損失	9,278	6,993	
税金等調整前四半期純損失	14,421	8,132	
四半期純損失	17,001	8,553	
流動資産		107,682	121,495
固定資産		190,720	200,607
総資産		298,402	322,103
流動負債		167,293	147,712
固定負債		63,186	80,172
純資産		67,921	94,219
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,479		
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,965		
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,520		

なお、訂正後の四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の状況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

3 財政状態及び経営成績の分析

(1) 経営成績の分析

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

(5) 研究開発活動

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__線を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第95期 第3四半期連結 累計期間	第95期 第3四半期連結 会計期間	第94期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高 (百万円)	322,345	100,423	447,164
経常利益 又は経常損失() (百万円)	10,540	7,642	2,222
四半期(当期)純損失 (百万円)	18,092	8,995	12,622
純資産額 (百万円)		68,823	96,212
総資産額 (百万円)		298,359	322,695
1株当たり純資産額 (円)		815.95	1,217.77
1株当たり四半期 (当期)純損失 (円)	258.60	128.58	180.47
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)		19.1	26.4
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	11,274		34,228
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	41,760		49,378
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	33,520		16,462
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)		15,790	13,781
従業員数 (名)		8,664	8,715

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、各期において四半期(当期)純損失が計上されているため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第95期 第3四半期連結 累計期間	第95期 第3四半期連結 会計期間	第94期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成20年 10月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日
売上高 (百万円)	322,345	100,423	447,825
経常利益 又は経常損失() (百万円)	<u>9,278</u>	<u>6,993</u>	<u>1,745</u>
四半期(当期)純損失 (百万円)	<u>17,001</u>	<u>8,553</u>	<u>13,061</u>
純資産額 (百万円)		<u>67,921</u>	<u>94,219</u>
総資産額 (百万円)		<u>298,402</u>	<u>322,103</u>
1株当たり純資産額 (円)		<u>803.06</u>	<u>1,189.28</u>
1株当たり四半期 (当期)純損失 (円)	<u>243.01</u>	<u>122.27</u>	<u>186.75</u>
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)		<u>18.8</u>	<u>25.8</u>
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	<u>12,479</u>		<u>34,813</u>
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	<u>42,965</u>		<u>49,962</u>
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	33,520		16,462
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)		15,790	13,781
従業員数 (名)		8,664	8,715

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、各期において四半期(当期)純損失が計上されているため記載しておりません。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の実績】

(1) 生産実績

当連結会計年度における生産実績は、次のとおりであります。

(訂正前)

事業の名称	生産高(百万円)
自動車等車両部品	<u>95,445</u>
情報環境機器部品	<u>3,499</u>
治具溶接機	1,795
合計	<u>100,740</u>

(訂正後)

事業の名称	生産高(百万円)
自動車等車両部品	<u>95,010</u>
情報環境機器部品	<u>3,325</u>
治具溶接機	1,795
合計	<u>100,131</u>

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(訂正前)

(1) 経営成績の分析

当第3四半期におけるわが国経済は、世界経済の低迷、原材料価格高騰によるコスト増加を主因として、企業収益は急速に落ち込み、企業の景況感は大幅に悪化しました。景気の牽引役の一翼を担っていた輸出は欧米景気の低迷から伸びは鈍化しました。また、インフレ進行などから消費者心理は悪化しており、個人消費は引続き弱含みとなりました。

当社グループの主要得意先であります自動車業界におきましても、景気低迷やガソリン価格の高止まりの影響を受け、低調に推移し、国内販売は前年同期比減少いたしました。輸出が比較的堅調に推移したことから、国内生産は前年同期比増加しましたが、米国、英国などの生産は前年同期比減少し、中国など新興国でも減速感が出始めました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、欧米に加え日本においても自動車各社の生産が減少したことから、連結売上高はやや減少いたしました。利益面は、全社をあげた原価低減、経費節減、業務効率向上に取り組んでまいりましたが、得意先各社の原価低減活動、原材料価格の高騰などの影響から、引続き不調な結果となりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結会計期間の連結業績は、売上高は主要得意先の自動車市場の縮小により、1,004億円となりました。事業の種類別の内訳は、自動車等車両部品961億円、情報環境機器部品42億円となっており、所在地別の内訳は、日本687億円、北米105億円、欧州127億円、アジア111億円となっております。

利益につきましては、営業損失は61億円、経常損失は76億円、四半期純損失は89億円となりました。事業の種類別では自動車等車両部品が63億円の営業損失、情報環境機器部品が2億円の営業利益を計上しており、所在地別の営業損益は日本80億円、北米0億円の営業損失、欧州3億円、アジア13億円の営業利益となっております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べて243億円減少し、2,983億円となりました。これは主に為替相場の変動と売上債権の減少によるものであります。負債については、長短借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて30億円増加し、2,295億円となりました。純資産については、四半期純損失の計上や為替換算調整勘定がマイナスに転じた影響等により、前連結会計年度末に比べて273億円減少し、688億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億円増加し、157億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、44億円となっており、これは主に減価償却費89億円から税金等調整前四半期純損失87億円を差し引いた結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資によるもので138億円を支出いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、130億円の収入となっており、長短借入金の調達及び返済による収支の結果であります。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の研究開発費の総額は985百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(訂正後)

(1) 経営成績の分析

当第3四半期におけるわが国経済は、世界経済の低迷、原材料価格高騰によるコスト増加を主因として、企業収益は急速に落ち込み、企業の景況感は大幅に悪化しました。景気の牽引役の一翼を担っていた輸出は欧米景気の低迷から伸びは鈍化しました。また、インフレ進行などから消費者心理は悪化しており、個人消費は引続き弱含みとなりました。

当社グループの主要得意先であります自動車業界におきましても、景気低迷やガソリン価格の高止まりの影響を受け、低調に推移し、国内販売は前年同期比減少いたしました。輸出が比較的堅調に推移したことから、国内生産は前年同期比増加しましたが、米国、英国などの生産は前年同期比減少し、中国など新興国でも減速感が出始めました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、欧米に加え日本においても自動車各社の生産が減少したことから、連結売上高はやや減少いたしました。利益面は、全社をあげた原価低減、経費節減、業務効率向上に取り組んでまいりましたが、得意先各社の原価低減活動、原材料価格の高騰などの影響から、引続き不調な結果となりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結会計期間の連結業績は、売上高は主要得意先の自動車市場の縮小により、1,004億円となりました。事業の種類別の内訳は、自動車等車両部品961億円、情報環境機器部品42億円となっており、所在地別の内訳は、日本687億円、北米105億円、欧州127億円、アジア111億円となっております。

利益につきましては、営業損失は54億円、経常損失は69億円、四半期純損失は85億円となりました。事業の種類別では自動車等車両部品が56億円の営業損失、情報環境機器部品が2億円の営業利益を計上しており、所在地別の営業損益は日本73億円、北米0億円の営業損失、欧州3億円、アジア13億円の営業利益となっております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べて237億円減少し、2,984億円となりました。これは主に為替相場の変動と売上債権の減少によるものであります。負債については、長短借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて25億円増加し、2,304億円となりました。純資産については、四半期純損失の計上や為替換算調整勘定がマイナスに転じた影響等により、前連結会計年度末に比べて262億円減少し、679億円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20億円増加し、157億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、44億円となっており、これは主に減価償却費89億円から税金等調整前四半期純損失81億円を差し引いた結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資によるもので138億円を支出いたしました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、130億円の収入となっており、長短借入金の調達及び返済による収支の結果であります。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間の研究開発費の総額は620百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第5 【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】
 (訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,863	13,918
受取手形及び売掛金	4 54,447	4 68,860
製品	3,693	4,527
仕掛品	18,180	21,124
原材料及び貯蔵品	3,446	3,199
繰延税金資産	190	181
その他	11,882	9,902
貸倒引当金	23	22
流動資産合計	107,682	121,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1 30,942	1 31,375
機械装置及び運搬具(純額)	1 79,598	1 81,947
工具、器具及び備品(純額)	1 19,062	1 17,809
土地	14,931	14,832
建設仮勘定	25,101	26,928
有形固定資産合計	169,638	172,893
無形固定資産	451	507
投資その他の資産		
投資有価証券	3 15,869	3 23,075
繰延税金資産	850	444
その他	3,903	4,121
貸倒引当金	37	36
投資その他の資産合計	20,587	27,603
固定資産合計	190,676	201,004
資産合計	298,359	322,695

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,049	67,977
短期借入金	3 75,753	3 36,248
1年内返済予定の長期借入金	4,001	3,418
1年内償還予定の社債	14,722	10,000
未払法人税等	262	3,971
役員賞与引当金	1	100
その他	22,431	25,980
流動負債合計	167,220	147,696
固定負債		
新株予約権付社債	-	14,722
長期借入金	43,514	42,911
繰延税金負債	9,286	11,773
退職給付引当金	8,435	8,409
役員退職慰労引当金	268	257
負ののれん	22	91
その他	787	620
固定負債合計	62,315	78,787
負債合計	229,535	226,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	13,321	13,321
利益剰余金	29,338	50,297
自己株式	145	139
株主資本合計	54,335	75,299
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,769	7,935
為替換算調整勘定	1,021	1,963
評価・換算差額等合計	2,748	9,899
少数株主持分	11,739	11,013
純資産合計	68,823	96,212
負債純資産合計	298,359	322,695

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,863	13,918
受取手形及び売掛金	4 54,447	4 68,860
製品	3,693	4,527
仕掛品	18,180	21,124
原材料及び貯蔵品	3,446	3,199
繰延税金資産	190	181
その他	11,882	9,707
貸倒引当金	23	22
流動資産合計	107,682	121,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1 30,942	1 31,375
機械装置及び運搬具（純額）	1 79,657	1 82,018
工具、器具及び備品（純額）	1 19,062	1 17,809
土地	14,931	14,832
建設仮勘定	25,109	26,928
有形固定資産合計	169,704	172,965
無形固定資産	451	507
投資その他の資産		
投資有価証券	3 15,869	3 23,075
繰延税金資産	827	415
その他	3,903	3,681
貸倒引当金	37	36
投資その他の資産合計	20,563	27,135
固定資産合計	190,720	200,607
資産合計	298,402	322,103

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,049	67,977
短期借入金	3 75,753	3 36,248
1年内返済予定の長期借入金	4,001	3,418
1年内償還予定の社債	14,722	10,000
未払法人税等	262	3,971
役員賞与引当金	1	100
その他	22,504	25,996
流動負債合計	167,293	147,712
固定負債		
新株予約権付社債	-	14,722
長期借入金	43,514	42,911
繰延税金負債	9,286	11,598
退職給付引当金	8,435	8,409
役員退職慰労引当金	268	257
負ののれん	22	91
持分法適用に伴う負債	871	1,560
その他	787	620
固定負債合計	63,186	80,172
負債合計	230,480	227,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	13,321	13,321
利益剰余金	28,437	48,304
自己株式	145	139
株主資本合計	53,433	73,307
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,769	7,935
為替換算調整勘定	1,021	1,963
評価・換算差額等合計	2,748	9,899
少数株主持分	11,739	11,013
純資産合計	67,921	94,219
負債純資産合計	298,402	322,103

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	322,345
売上原価	314,084
売上総利益	8,261
販売費及び一般管理費	
運賃及び荷造費	6,879
給料手当及び賞与	3,276
退職給付費用	198
役員退職慰労引当金繰入額	20
法定福利及び厚生費	496
租税公課	328
減価償却費	588
研究開発費	1,496
その他	2,800
販売費及び一般管理費合計	16,085
営業損失()	7,824
営業外収益	
受取利息	159
受取配当金	439
鉄屑売却益	710
デリバティブ評価益	804
その他	376
営業外収益合計	2,490
営業外費用	
支払利息	2,289
為替差損	1,949
その他	967
営業外費用合計	5,206
経常損失()	10,540
特別利益	
貸倒引当金戻入額	0
補助金収入	62
デリバティブ解約益	200
特別利益合計	262
特別損失	
減損損失	4,750
固定資産除却損	643
投資有価証券評価損	10
その他	1
特別損失合計	5,405
税金等調整前四半期純損失()	15,682
法人税等	1,700
少数株主利益	1,709
四半期純損失()	18,092

(訂正後)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

売上高	322,345
売上原価	313,536
売上総利益	8,808
販売費及び一般管理費	
運賃及び荷造費	6,879
給料手当及び賞与	3,276
退職給付費用	141
役員退職慰労引当金繰入額	20
法定福利及び厚生費	496
租税公課	328
減価償却費	588
研究開発費	356
その他	2,800
販売費及び一般管理費合計	14,888
営業損失()	6,079
営業外収益	
受取利息	159
受取配当金	439
鉄屑売却益	710
デリバティブ評価益	804
その他	376
営業外収益合計	2,490
営業外費用	
支払利息	2,289
為替差損	1,924
持分法による投資損失	508
その他	967
営業外費用合計	5,689
経常損失()	9,278
特別利益	
貸倒引当金戻入額	0
補助金収入	62
デリバティブ解約益	200
特別利益合計	262
特別損失	
減損損失	4,750
固定資産除却損	643
投資有価証券評価損	10
その他	1
特別損失合計	5,405
税金等調整前四半期純損失()	14,421
法人税等	1,870
少数株主利益	1,709
四半期純損失()	17,001

【第3四半期連結会計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	100,423
売上原価	101,520
売上総損失()	<u>1,096</u>
販売費及び一般管理費	
運賃及び荷造費	2,147
給料手当及び賞与	1,079
退職給付費用	124
役員退職慰労引当金繰入額	7
法定福利及び厚生費	163
租税公課	87
減価償却費	276
研究開発費	188
その他	981
販売費及び一般管理費合計	<u>5,055</u>
営業損失()	<u>6,152</u>
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	184
鉄屑売却益	230
デリバティブ評価益	669
その他	128
営業外収益合計	1,223
営業外費用	
支払利息	819
為替差損	1,477
その他	415
営業外費用合計	<u>2,712</u>
経常損失()	<u>7,642</u>
特別利益	
補助金収入	62
デリバティブ解約益	200
特別利益合計	262
特別損失	
減損損失	746
固定資産除却損	643
投資有価証券評価損	10
その他	1
特別損失合計	1,401
税金等調整前四半期純損失()	<u>8,780</u>
法人税等	1 232
少数株主利益	447
四半期純損失()	<u>8,995</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
 (自平成20年10月1日
 至平成20年12月31日)

売上高	100,423
売上原価	100,880
売上総損失()	456
販売費及び一般管理費	
運賃及び荷造費	2,147
給料手当及び賞与	1,079
退職給付費用	66
役員退職慰労引当金繰入額	7
法定福利及び厚生費	163
租税公課	87
減価償却費	276
研究開発費	188
その他	981
販売費及び一般管理費合計	4,998
営業損失()	5,455
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	184
鉄屑売却益	230
デリバティブ評価益	669
その他	128
営業外収益合計	1,223
営業外費用	
支払利息	819
為替差損	1,452
持分法による投資損失	73
その他	415
営業外費用合計	2,761
経常損失()	6,993
特別利益	
補助金収入	62
デリバティブ解約益	200
特別利益合計	262
特別損失	
減損損失	746
固定資産除却損	643
投資有価証券評価損	10
その他	1
特別損失合計	1,401
税金等調整前四半期純損失()	8,132
法人税等	125
少数株主利益	447
四半期純損失()	8,553

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	15,682
減価償却費	24,607
減損損失	4,750
受取利息及び受取配当金	599
支払利息	2,289
売上債権の増減額(は増加)	12,281
たな卸資産の増減額(は増加)	2,812
仕入債務の増減額(は減少)	15,135
その他	5,667
小計	20,990
利息及び配当金の受取額	632
利息の支払額	2,269
法人税等の支払額	8,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	41,681
貸付けによる支出	43
貸付金の回収による収入	84
その他	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	43,293
長期借入れによる収入	4,473
長期借入金の返済による支出	2,140
社債の償還による支出	10,000
配当金の支払額	2,098
少数株主への配当金の支払額	1
その他	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,026
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,008
現金及び現金同等物の期首残高	13,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,790

(訂正後)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	14,421
減価償却費	24,620
減損損失	4,750
受取利息及び受取配当金	599
支払利息	2,289
売上債権の増減額(は増加)	12,281
たな卸資産の増減額(は増加)	2,812
仕入債務の増減額(は減少)	15,135
その他	5,598
小計	22,195
利息及び配当金の受取額	632
利息の支払額	2,269
法人税等の支払額	8,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	41,689
貸付けによる支出	1,297
貸付金の回収による収入	142
その他	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,965
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	43,293
長期借入れによる収入	4,473
長期借入金の返済による支出	2,140
社債の償還による支出	10,000
配当金の支払額	2,098
少数株主への配当金の支払額	1
その他	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	33,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,026
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,008
現金及び現金同等物の期首残高	13,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,790

【追加情報】

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>(手形問題に関する事項) 当社の子会社である株式会社ビジネスデザイン研究所に対する不正融資に関連して、当社従業員は平成19年11月26日に、50枚の手形用紙を持ち出し、取引の裏づけのない融通手形1,500百万円(300百万円×5枚)を無断で発行して回収後廃棄処分し、未使用分の45枚の手形用紙についても廃棄処分したと供述しており、発行済の手形については、現在公示催告の申し立てを行っております。</p> <p>以上の通り、当時の状況、本人の供述などを総合的に勘案いたしました。当該従業員が使用済み手形および未使用の手形用紙を処分したという供述について一定の信用性は認められるものの完全に処分されたとの確証は得られず、万が一手形の所持人から届出があった場合の当社の損害を見込むことが不可能なため、その影響を連結財務諸表に反映しておりません。</p>	<p>(手形問題に関する事項) 同左</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 233,625百万円	1 有形固定資産の減価償却累計額 216,851百万円

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 233,656百万円	1 有形固定資産の減価償却累計額 216,869百万円

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	自動車等 車両部品事業 (百万円)	情報環境 機器部品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	96,159	4,264	100,423		100,423
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	96,159	4,264	100,423		100,423
営業利益又は営業損失()	<u>6,382</u>	<u>230</u>	<u>6,152</u>		<u>6,152</u>

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	自動車等 車両部品事業 (百万円)	情報環境 機器部品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	309,377	12,968	322,345		322,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	309,377	12,968	322,345		322,345
営業利益又は営業損失()	<u>8,429</u>	<u>605</u>	<u>7,824</u>		<u>7,824</u>

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	自動車等 車両部品事業 (百万円)	情報環境 機器部品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	96,159	4,264	100,423		100,423
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	96,159	4,264	100,423		100,423
営業利益又は営業損失()	<u>5,693</u>	<u>238</u>	<u>5,455</u>		<u>5,455</u>

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	自動車等 車両部品事業 (百万円)	情報環境 機器部品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	309,377	12,968	322,345		322,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	309,377	12,968	322,345		322,345
営業利益又は営業損失()	<u>6,693</u>	<u>613</u>	<u>6,079</u>		<u>6,079</u>

【所在地別セグメント情報】

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	66,408	10,545	12,769	10,700	100,423		100,423
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,330	5	2	493	2,832	(2,832)	
計	68,739	10,550	12,771	11,194	103,255	(2,832)	100,423
営業利益又は営業損失()	<u>8,052</u>	41	361	1,383	<u>6,348</u>	195	<u>6,152</u>

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	214,749	36,645	39,466	31,484	322,345		322,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,504	5	3	813	14,326	(14,326)	
計	228,253	36,650	39,469	32,298	336,672	(14,326)	322,345
営業利益又は営業損失()	<u>13,978</u>	560	1,444	3,875	<u>8,098</u>	273	<u>7,824</u>

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	66,408	10,545	12,769	10,700	100,423		100,423
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,330	5	2	493	2,832	(2,832)	
計	68,739	10,550	12,771	11,194	103,255	(2,832)	100,423
営業利益又は営業損失()	<u>7,350</u>	41	361	1,383	<u>5,646</u>	191	<u>5,455</u>

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	214,749	36,645	39,466	31,484	322,345		322,345
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,504	5	3	813	14,326	(14,326)	
計	228,253	36,650	39,469	32,298	336,672	(14,326)	322,345
営業利益又は営業損失()	<u>12,221</u>	560	1,444	3,875	<u>6,340</u>	260	<u>6,079</u>

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	815.95円	1株当たり純資産額	1,217.77円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(百万円)	68,823	96,212
普通株式に係る純資産額(百万円)	57,083	85,199
差額の主な内訳		
少数株主持分(百万円)	11,739	11,013
普通株式の発行済株式数(千株)	70,049	70,049
普通株式の自己株式数(千株)	89	86
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	69,960	69,963

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	803.06円	1株当たり純資産額	1,189.28円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額		
純資産の部の合計額(百万円)	67,921	94,219
普通株式に係る純資産額(百万円)	56,182	83,206
差額の主な内訳		
少数株主持分(百万円)	11,739	11,013
普通株式の発行済株式数(千株)	70,049	70,049
普通株式の自己株式数(千株)	89	86
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(千株)	69,960	69,963

2 1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第3四半期連結累計期間

(訂正前)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	258.60円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失が計上されているため記載しておりませ
 ん。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項 目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(百万円)	18,092
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	18,092
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	69,961

(訂正後)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	243.01円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失が計上されているため記載しておりませ
 ん。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項 目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(百万円)	17,001
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	17,001
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	69,961

第3四半期連結会計期間

(訂正前)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	128.58円
潜在株式調整後1株当たり四半期利益	円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失が計上されているため記載しておりませ
 ん。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項 目	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(百万円)	8,995
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	8,995
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	69,960

(訂正後)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純損失金額	122.27円
潜在株式調整後1株当たり四半期利益	円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、四半期純損失が計上されているため記載しておりませ
 ん。

2 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎

項 目	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	
四半期連結損益計算書上の四半期純損失(百万円)	8,553
普通株式に係る四半期純損失(百万円)	8,553
普通株主に帰属しない金額(百万円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	69,960

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年 6月16日

フタバ産業株式会社
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士 松岡 憲正 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士 井上 嗣平 印
指定社員 業務執行社員	公認会計士 石井 幹太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフタバ産業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フタバ産業株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

1. 四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。
2. 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に記載のとおり、会社は継続して重要な当期純損失を計上するとともに、四半期連結財務諸表提出会社においてシンジケート・ローンの財務制限条項に抵触していることから、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在している。当該状況に対する経営計画等は当該注記に記載されている。四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映していない。
3. 追加情報に記載されているとおり、会社の子会社である株式会社ビジネスデザイン研究所に対する不正融資に関連して、会社の従業員が無断で発行して回収した支払手形および持ち出した未使用の手形用紙を廃棄処分したと供述しているが、完全に処分されたとの確証は得られず、万が一手形の所持人から届出があった場合の会社の損害を見込むことが不可能なためその影響を四半期連結財務諸表に反映していない。
4. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載のとおり、会社は当第3四半期連結累計期間より棚卸資産の評価に関する会計基準を適用している。
5. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載のとおり、会社は当第3四半期連結累計期間より連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いを適用している。
6. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載のとおり、会社は当第3四半期連結累計期間より在外子会社等の収益及び費用について期中平均相場により換算する方法に変更している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。